

せめてそれだけでも、涙が溢れる。誰が、あの子たちの生よりも、自分の人生の方が重いといひ切れるだろうか。汚れた手の大人たち。幼いものたちのために、さわやかな風を、美しい水を、とりもどしてやりたい！

ヨルの部はヒルに比べて約半数の入場者であったが、皆さんみじろぎもせず、そして最後には拍手をもって閉じて下さった。

終了後、市民会館の外に出ると、半月が南の空に見えすでに秋の風が涼しく快かったことも記録にとどめておきたい。

五、会計報告

取入		
前売券	枚	148,200円
当日券	132枚	26,400円
計		174,600円
支出		
普林舎フィルム代(100円×398人分)		39,800円
ホール使用料他		20,580円
前売券印刷代		4,500円
案内状(4円×1000枚)		4,000円
ポスター(15円×300枚)		4,500円
チラシ印刷代 1,500枚		5,000円
チラシ1,000枚追加分紙代		1,000円
入場税		8,500円
映写技師謝礼		3,000円
雑費		1,720円
計		92,600円
残		82,000円
(残金は会計に納入)		

夏の終わりに

大石恒雄

毎日三十度を越す暑さに息づまる思いである。それでも何かにつかれたように行楽地めがけて車の洪水が続く。ついこの間まで物がだぶついていると思っていたら、この頃では急に、あれもない、これもないと世の中が一変してしまつたようである。うっかりしていたら商売用の印刷用紙の入手も困難になつて来たのである。GNP世界第二位とやらもどうもおかしな話である。世の中の流れがとて早過ぎて戸迷っている所へ方向さえもがらりがらりと変わるのだから、一億総ノイローゼになつたようにイライラと落ち着きのない生き方をしなければならぬ。今、差し当って何が困るといふ事もないのに明日への希望など持てないといふところが病める社会の様相であるのか。何をやっても落ち着かない。

× × ×  
 つい二月ばかり前のこと、孫たちにせがまれるまゝに大岩田の水道局の近くの霞ヶ浦湖畔に釣に出かけたことがある。あの辺一帯は、鯉と手長蝦の絶好の釣り場であつた。